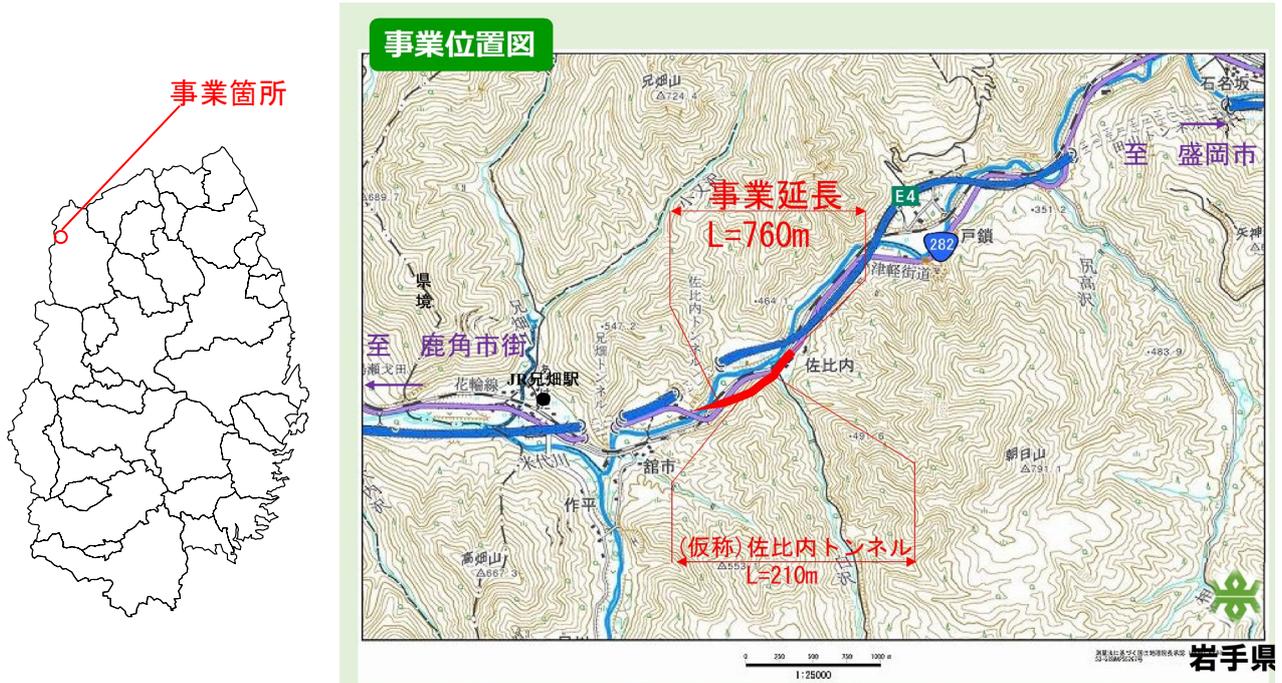


一般国道282号(仮称)佐比内トンネル築造工事 トンネルの掘削工事を推進しています！

盛岡広域振興局土木部 岩手土木センター

岩手県が八幡平市赤平地区で整備を進めている一般国道282号(仮称)佐比内トンネル築造工事について、令和6年5月に現地に着手し、希少種の移植やヤードの整備等トンネル掘削の準備を進め、9月には安全祈願祭を開催し、10月下旬から本格的な掘削作業に着手しました。



終点側坑口部



令和6年5月8日時点



令和6年11月1日時点

全体延長	760m
全体事業費	29億円
道路規格	第3種 第3級
設計速度	60km/h
主要構造物	(仮称)佐比内トンネル 延長210m
道路幅員	12.0m (2.50+1.75+3.00+3.00+1.75)

令和6年5月には、現地に自生している希少種の食草等について、工事の影響のない範囲に移植をしながら、仮設備設置のためのヤード造成を行うなど現地へ着手し、本格的なトンネル掘削の準備を始めました。



希少種移植状況（令和6年5月13日）



ヤード造成状況（令和6年6月14日）

令和6年9月6日には、工事受注者であるピーエス・コンストラクション株式会社・株式会社近江建設特定共同企業体主催の**安全祈願祭を開催**しました。

地元選出県議会議員、八幡平市、工事関係者約40人が出席し、鍬入れ等の神事を行った後、盛岡広域振興局長から発注者代表あいさつ、八幡平市長から祝辞があり、出席者全員で工事の無事故・無災害での早期完成を祈願しました。



早期完成に向けて、
全力で取り組んで行く。

無事故で竣工を
迎えられるように。

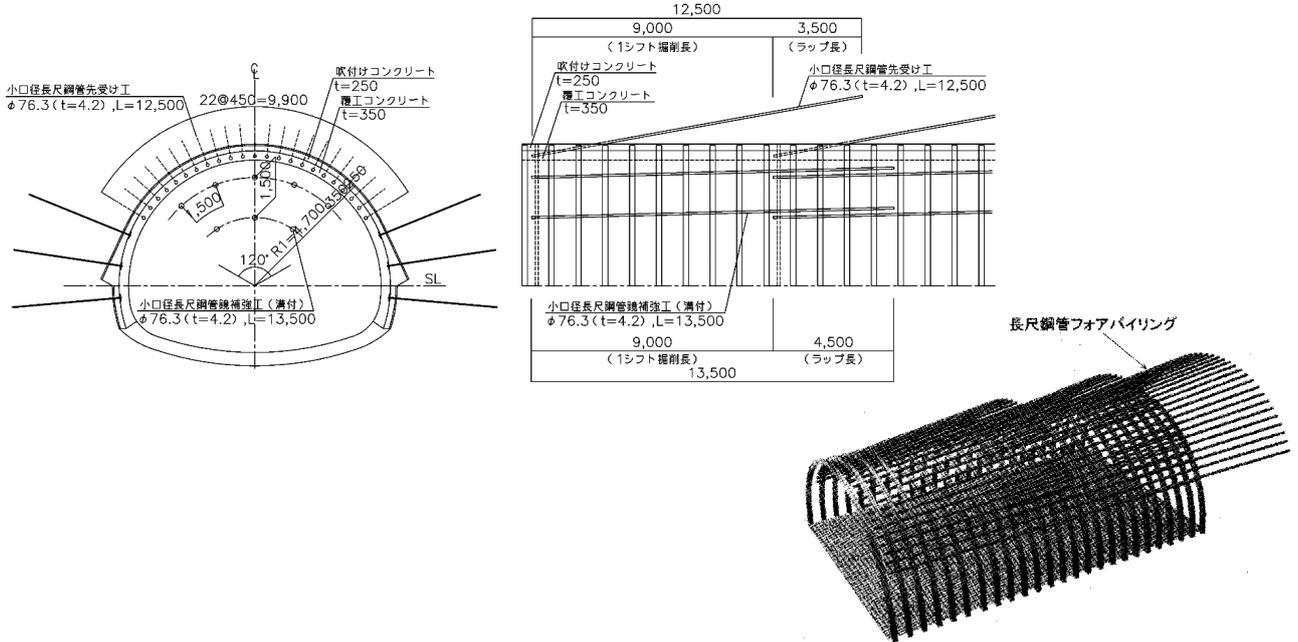


発注者代表挨拶：盛岡広域振興局 小野寺局長



祝辞：八幡平市 佐々木市長

令和6年10月下旬には、**終点側から本格的なトンネル掘削作業に着手し**、事前調査の想定通り、坑口部の崖錐堆積層(未固結層)の存在が確認されました。自然体での切羽の自立が困難であることから、作業の安全に配慮し、先受補強工法や鏡補強工法を実施しながら、施工を進めました。



坑口部の掘削状況 (10月24日)



切羽状況 ~崖錐堆積層~ (10月24日)

現在は、想定より硬い凝灰岩が露岩し、坑口へ防音扉を設置するまで重機による掘削を予定していましたが、ブレーカーの歯が立たないため、部分的に発破工法も活用しながら、掘削を進めています。



掘削状況：坑口から20m地点 (11月12日)



切羽状況：坑口から21m地点 (11月12日)